経年好日



経年劣化ではなく、経年良化

ほつれた着物を繕う。割れた茶碗を金継ぎする。壊れた道具を修理する。衣服も、器も、皮や木工品も、昔の日本にはモノを手入れしながら長く使う文化がありました。私たちはいつから、「古くなること」を価値が下がることだと思うようになったのでしょうか。色があせ、傷がつき、使い込まれた変化を今、私たちは「劣化」と呼びます。しかし、本当にそうでしょうか。私たちの先人は、それを単なる「劣化」や「古さ」とは捉えませんでした。それには、長い年月が刻まれています。手をかけてきた愛着も育まれています。そして思い出も重ねられて、決して新品からは感じられない、深い美しさがあります。時間は、モノの価値を奪うものではなく、愛着や価値を育てていくもの。その人だけの愛おしい物語を紡ぐために、時間は流れるのだと思うのです。

豊かになった社会が失ったもの

今、私たちの暮らしはかつてないほど便利になりました。大量生産によってモノは安くなり、欲しいと思えばすぐに手に入ります。インターネットやデジタル技術によって、世界中の情報にアクセスするのも一瞬です。その恩恵は計り知れません。けれど一方で、ゆっくり時間をかける喜びを、失ってしまったように思います。お気に入りを長く使うことも、誰かの大切なものを受け継ぐことも忘れ、人と向き合う、モノと向き合う、そして自分自身と向き合う時間をも忘れてしまった今の私たち。——もちろん、便利さを捨て去ることを望むのではありません。その便利を享受しながら、だからこそ生まれるゆとりの中で少し立ち止まり、手を動かし、向き合って、使い捨てるのではなく関係を育てていく。そんな〝時を味わう〟心を思い出したいのです。「経年好日」は、そのための小さな場所です。

時を重ねることは、めでたいこと

「経年好日」へようこそ。かつては当たり前だった価値観を、もう一度見つめ直すために。壊れたモノを壊れる前の状態に戻すのではなく、新しいモノに置き換えるのでもなく、今あるモノに宿る記憶や想いを受け止めながら未来へとつないでいく。少し傷付いたAを、より魅力的なA＋へと育てていく。長く続く時を紡いで、変化しながら生き続けることは、本来とても喜ばしいことだったはずです。直しに来ませんか？

愛着あるモノとの記念写真を撮りに来ませんか。

お気に入りの品と過ごした時間を振り返りに来ませんか。

これまで時を重ねてきた自分をいたわりに来ませんか。

そして、これからも共に生きる未来を祝いに来ませんか。

時を重ねることは、美しい。

時を重ねることは、豊か。

時を重ねることは、めでたい。

経年好日

直す日、愛でる日、めでたい日。

私たちは、時間を短縮する豊かさだけではなく、時間を味わう豊かさも取り戻したい。モノを直しながら、人も、暮らしも、少しだけ豊かになる二日間。経年劣化ではなく、経年良化。時を重ねることを祝う、小さなお祭りです。



イベント名　経年好日（けいねんこうじつ）

開催日　二〇二六年十一月二七日（金）十一時～十八時
二〇二六年十一月二八日（土）十一時～十六時

会場　三谷温泉 平野屋（愛知県・蒲郡市）
〒四四三－〇〇二二 愛知県蒲郡市三谷町南山一－二二
☎〇五三三－六八－五六六一

主催　株式会社平野屋・蒲郡市（共催）

企画・運営　株式会社 CYKLUS
株式会社新東通信 CIRCULAR DESIGN STUDIO.

アートディレクション　株式会社ペーパーパレード

写真・映像　株式会社 ATSURAELU

協力　サンローズ株式会社、株式会社丸五製綱所、
森菊株式会社、蒲郡おもちゃ病院、ＹＫＫ株式会社、
株式会社山上商店（cucuri）他

メディアパートナー　アーティクル株式会社

環境省令和七年度補正予算 リユース等の促進に関するモデル実証事業

経年好日

入場無料

十一月二七日（金）
（十一時―十八時）

十一月二八日（土）
（十一時―十六時）



直す日、愛でる日、

@蒲郡市 平野屋

傷がついた日も、
手を入れた日も。
ともに過ごした時間が、
モノに「味」と「粋」を宿していく。
経年劣化ではなく、経年良化。
愛用品を直し、
役目を終えた素材に
新たな命を吹き込む。
歴史ある旅館を舞台に、
大人も子どもも、気軽に集う。
直す、つくる、観る、語る。
モノと人のこれからを楽しむ二日間。

イベント内容やタイムテーブル
会場アクセスなどの情報はこちら

めでたい日。

経年好日リペアカフェ

ほつれた服、動かなくなったおもちゃ、傷のついた家具。捨てる前に、もう一度手をかけてみませんか。さまざまな分野の修理人が集まり、皆さまの思い入れのあるものを修理します。愛着はあるけれど、壊れて使えなくなってしまったもの、しまったままになっているものがあれば、ぜひお持ちください。（参加費：無料）



一　衣類の修理

ほつれや破れ、穴があいてしまった衣類を、ミシンや手縫いで修理します。お気に入りの服や、まだまだ着たい服など、「直してもう一度着たい」という一着をお持ちください。

二　ファスナーの修理

閉まらない、開いてしまう、引き手が壊れたなど、調子が悪くなったファスナーをＹＫＫ株式会社のリペア職人が修理します。お気に入りの服やバッグなど、ファスナーの不具合で使えなくなっているものをお持ちください。

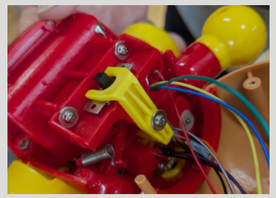
※ファスナー自体の交換はできません。



三　おもちゃの修理

蒲郡おもちゃ病院による、おもちゃの修理です。動かなくなったり、壊れてしまったおもちゃを、おもちゃ修理の専門家が診断・修理します。子どものお気に入りや、思い出があって捨てられないおもちゃなど、「また遊びたい」ものをお持ちください。

その場で修理できないものはお預かりし、蒲郡市内で定期的に開催されている「おもちゃ病院」で修理してお返しします。



四　家具の修理

傷がついたり、ぐらついたり、壊れてしまった家具を、状態を見ながら修理します。

椅子や小さな家具など、長く使ってきた大切なものをお持ちください。これからも使い続けるための方法を一緒に考えます。

五　アナログ家電の修理

動かなくなったり、調子が悪くなった古い家電を診断・修理します。ラジオや時計、掃除機や扇風機など、愛着があってこれからも使い続けたいものをお持ちください。

六　ダーニングワークショップ

衣類の穴やほつれを、色とりどりの糸を使って繕います。Ｔシャツやニット、靴下など、傷んでしまったけれどまだ使いたいものをお持ちください。直した跡も新しい表情として楽しめるリペアです。

七　有松絞り ヒートセット加工　※二七日（金）のみ

有松絞りブランド「cucuri（くくり）」によるヒートセット加工です。生地に凹凸をつけることで、お持ちのシャツなどを新たな表情へと生まれ変わらせます。

※対象素材：ポリエステル

注意事項

・会場でできる限りの修理を行いますが、状態や内容によっては対応できない場合があります。
・各メニューは事前予約を受け付けています。
・ご予約の方を優先してご案内しますが、当日枠もあります。お気軽にご来場ください。

予約はこちら

経年好日クラフト　（アップサイクル体験）

クリスマスリースづくり

クリスマスシーズンに向けて、身近な素材を使ったリースづくりを楽しみませんか。カーテンや布地の端切れ、ロープの端材など、蒲郡市内の事業者から提供いただいた廃材を再利用してクリスマスリースをつくります。大人から子どもまで楽しめるワークショップです。

参加費　無料
素材提供　サンローズ株式会社・
株式会社丸五製綱所・森菊株式会社



経年好日スタジオ

いつも使っている道具、受け継いだ服、修理して使い続けてきた品。あなたの大切なモノと一緒に、今この瞬間を、一枚の写真に残します。モノだけでも、人だけでもない、ともに重ねてきた時間を写す写真館。未来へ大切に持っていきたい、記憶の一枚をお撮りします。

参加費　無料





経年好日ギャラリー　（アップサイクル展示）

蒲郡の繊維産業から生まれた素材や、役目を終えたロープなどに新たなアイデアを加え、別の価値へと生まれ変わった作品を展示します。地場産業の技術を生かして制作された衣装をはじめ、ロープを活用したベンチやスツール、学生たちの発想から生まれた作品など、地域の素材と技術の新しい可能性をお楽しみください。

展示作品
・「時をまとう・三河縞トレンチドレス」
・「循環する森・三河木綿サーキュラースタイル」
・ロープベンチ・スツール（制作：名古屋造形大学インテリアヤスタジオ有志）
・KAWAII 細胞（制作：豊橋技術科学大学建築計画学研究室）

経年好日シネマ

ドキュメンタリー映画「リペアカフェ」

モノを修理することは、壊れかけた関係や地域のつながりを結び直すことかもしれません。ドキュメンタリー映画「リペアカフェ」の上映を通して、修理の場に集う人々と、そこから生まれる物語をたどります。観た後に、身近なモノとの付き合い方が少し変わる映写会です。

上映時間　二〇二六年十一月二七日（金）十六時十五分～十七時
　　二〇二六年十二月二八日（土）十三時十五分～十四時
鑑賞費　無料



企画制作：IDEAS FOR GOOD、協力：Repair Café International
監督、撮影、編集、翻訳：瀬沢正人、撮影応援：龍ノ口弘陽、
クリエイティブアドバイザー：廣瀬正樹、翻訳補助：吉野有香、Anita Janssen
二〇二四年／オランダ、日本／30分／カラー／日本語、英語、オランダ語字幕

経年好日マルシェ

地域のクラフトやアップサイクル品などが並ぶ「経年好日マルシェ」を開催します。長く使い込むほど馴染む道具や、役目を終えた素材を再構成した商品のほか、地域に根ざした様々なものが集まります。

主催者メッセージ

三谷温泉 平野屋
代表取締役 平野寛幸

昭和七年、三谷温泉の地に開業して九十余年。平野屋の柱や廊下に宿る古さは、非日常を求めて訪れたお客様の思い出が、塵のように静かに降り積もった姿なのだと思います。磨かれた手すりの艶やかさも、少し軋む床にも、誰かの笑い声や安らいだ時間が溶け込んでいます。

古いものには、新品にはない目に見えない価値があります。使ってきた人の記憶、作った人の想い。それは便利さや機能性では測れない、時間だけが育てる美しさです。傷も、褪せた色も、ともに過ごした日々の証。手を入れ、愛でながら使い続けるその営みで、この二日間で触れていただけたら嬉しく思います。時を重ねたものたちとともに、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



トークセッションは随時、情報を更新しますので下記のQRコードからフォローしてください。

instagram

経年好日トーク

モノを長く使うことや、地域の未来について語り合う、さまざまな実践者の対話から、新しい気づきやつながりが生まれる場です。

トークセッション①

日本各地で広がるリペアカフェ。東京、京都（亀岡市）、岐阜、島根（海士町）で活動するリペアカフェ実践者を迎え、それぞれの取り組みや地域での広げ方について語り合います。これから自分の地域でリペアカフェを始めてみたい方にもヒントが見つかるトークセッションです。

二〇二六年十一月二七日（金）十七時～十八時

トークセッション②

さまざまな分野で活躍するリペア職人によるクロストーク。修理の現場で感じるリペアの魅力や難しさ、技術の奥深さについて、それぞれの経験を交えながら語り合います。直すことの楽しさや、モノと長く付き合うことの価値に触れるトークセッションです。

二〇二六年十一月二八日（土）十四時～十五時

地域事業者メッセージ

おもちゃ病院
院長 吉原幸子さん



蒲郡市で月に一度、おもちゃ病院を開催しています。壊れたおもちゃをお預かりし、入院・治療を経て、元気になったおもちゃを退院させる。そんな活動をボランティアで行っています。私たちの喜びは、再び命を吹き込まれたおもちゃを手にした子どもたちの笑顔。そして、思い出の話まったおもちゃが、また子どもたちと一緒に過ごせることです。

今回のリペアカフェでは、おもちゃを直す過程を通して、修理する楽しさや喜びを皆さんと分かち合いたいと思っています。壊れたら捨てるのではなく、直して、また大切に使う。ものを大切にする心や、ものがよみがえる喜びを、一緒に感じられる場になればうれしいです。

株式会社丸五製綱所
代表取締役 間瀬有実子さん



株式会社丸五製綱所は、愛知県蒲郡市形原町にある、大正十一年創業のロープメーカーです。水産用・林業用・人命救助用など、さまざまな産業や暮らしを支えるロープを製造しています。

近年は、製造過程で生まれる廃材の活用や、異業種との連携による循環型のものづくりにも取り組んでいます。また、学校での出前授業などを通じて、地域産業の魅力を次世代に伝えています。

一本一本の糸が撚り合わさって強いロープになるように、私たちも人や地域とのつながりを大切にしながら、ものづくりの可能性を広げていきたいと考えています。リペアカフェやアップサイクルを通じて、ものを大切にすることや、手を動かしてつくる楽しさを皆さまと分かち合っていけたらと思います。

サンローズ株式会社
代表取締役 榊原功二さん



サンローズ株式会社は、蒲郡の地でカーテンをはじめとするインテリアメーカーです。生産上、発生するカーテンのハギレ生地を利用したドレス製作や、自動車エアバッグ生地の廃材を用いたアップサイクル製品の開発など、地域連携による循環型社会の実現に取り組んでいます。

「壊れたら捨てる」から「直して使い続ける」へ。少しの手間をかけてモノに新たな命を吹き込むリペアの精神は、これからのものづくりの原点であり、そこに宿る思い出や職人の技を未来へ紡ぐ豊かな営みです。

歴史ある平野屋様という風情あふれる空間で、モノに込められた時間や確かな技術を体感していただき、世代や地域を越えて循環の輪を次世代へと紡いでいきたいと考えています。